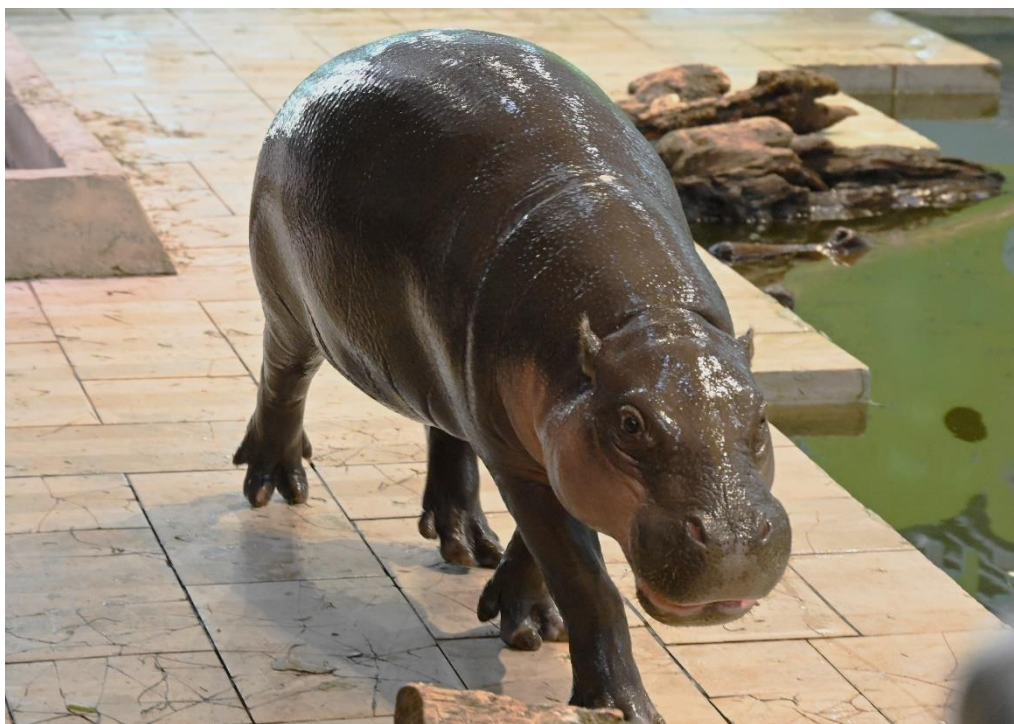


報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

4月7日にミニカバのおてんば娘「テンテン」が アドベンチャーワールドへお引越し 絶滅危惧種のミニカバの将来の繁殖をめざします



大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では 2025 年 4 月 7 日(月)の閉館後に、絶滅危惧種であるミニカバの「テンテン」(メス、3 歳)が、アドベンチャーワールド(和歌山県西牟婁郡白浜町)へお引越します。同園では現在ミニカバを飼育しておらず、希少なミニカバの魅力をより多くの方に知っていただき、将来の繁殖をめざします。

「テンテン」は、2021 年 6 月 18 日にニフレルで誕生しました。生後 2 か月頃から、飼育担当のキュレーターが口を揃えて「おてんば娘」というほど、やんちゃな性格でスクスクと育ちました。愛称の「テンテン」は“元気に走り回ってできた足跡が‘点点’とつながるように、その愛らしさでお客さんと生きものをつないでほしい”との思いを込めて、一般公募の中から決定しました。

ミニカバは、IUCN(国際自然保護連合)によると、西アフリカの限られた地域に、わずか 2,000～2,500 頭のみ生息し、IUCN のレッドリストで絶滅危惧種に分類されています。また、ワシントン条約の付属書Ⅱに掲載され世界的に保護されています。国内で飼育しているのは、5 園館 13 頭です。

尚、「テンテン」のお引越し後も「フルフル」と「ネムネム」の 2 頭のミニカバを、「みずべにふれる」ゾーンでご覧いただけます。また、将来の繁殖成功を願うとともに、これまで「テンテン」を応援してくれた皆様への感謝を込めて、「テンテン」への応援メッセージ募集やエサやり体験イベントを開催します。

【「テンテン」のお引越しに関する取材・撮影について】

作業の安全を最優先とするため、撮影場所を限定させていただきます。また、状況によっては撮影途中でも中止をお願いする場合があります。尚、アドベンチャーワールドへの輸送同行や搬入の取材はお断りします。

NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 西前、渋谷

TEL:06-6876-2204(平日 9:00～17:30) MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp



【ミニカバ「テンテン」について】

《誕生日》2021年6月18日（3歳）

《性別》メス

《両親》母親：愛称「フルフル」（12歳。2012年12月17日にシンガポール動物園で誕生）

父親：愛称「モトモト」（11歳。2013年7月9日にチリのブイン動物園で誕生。現在は恩賜上野動物園）

《体重》223kg（2025年2月25日測定）

《特徴》ずばり「おてんば娘」です。生後2か月頃から自分のやりたいことをやりたいだけやる性格で、プールに飛び込んでずっと泳ぎまわったり潜ったり、疲れて狭い場所にすっぽり入ってよく寝てしまって、母親の「フルフル」はじっとその姿を見ていることもありました。

【担当キュレーターより】

2021年、様々な不安が渦巻く中で無事に生まれて来てくれた日のことは今でも鮮明に覚えています。おてんばな性格からたくさんの人々を魅了してくれたテンテン。テレビやSNSなどで全国からたくさんの方々に成長を見守っていただき本当に感謝しております。約4年という長いようであるという間だった期間をテンテンと共に過ごし、彼女の成長だけでなく私たちキュレーターも大いに成長できたと感じています。新しい地で元気に過ごしてくれることを心から祈っています。

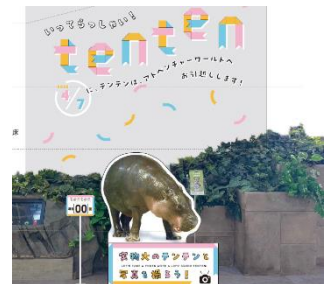
<いってらっしゃい！「テンテン」開催概要>

① 等身大「テンテン」と写真を撮ろう！特設フォトスポット

みずべにふれるゾーンの、ミニカバ水槽前に設置。

テンテンは毎日15時から登場しますが、いつでも撮影をお楽しみいただけます。

【設置期間】2月28日（金）～4月7日（月）



等身大「テンテン」フォトスポットイメージ

② インスタグラムで応援メッセージ募集

「テンテン」への応援メッセージをニフレ公式Instagramにて募集します。メッセージの一部は印刷して「テンテン」を輸送するケージに貼り付けます。

【募集期間】3月20日（木祝）～4月6日（日）



過去の搬出時のメッセージ貼り付けイメージ

③ 「テンテン」へのエサやり体験参加者募集

引越し先でキュレーターではない人からエサをもらう練習として、「テンテン」の大好物の青草などを与えていただきます。

【開催日時】3月22日（土）23日（日）15時半頃

【募集人数】5組（1組4名様まで）

【対象】小学生以上

【応募方法】ニフレ公式Webサイトにてご応募いただきます。

※各イベントの詳細は決まり次第ニフレ公式Webサイトにてお知らせいたします。



ミニカバのエサやりの様子

【ニフレル生まれのミニカバ】

ニフレルではこれまでに3頭のミニカバが誕生しています

- タムタム(オス) 2019.2.21 生まれ(現在は神戸どうぶつ王国)
- テンテン(メス) 2021.6.18 生まれ
- ネムネム(メス) 2023.8.17 生まれ

3頭の両親は、父モトモト(2013.7.9 生まれ、現在は恩賜上野動物園)と母フルフル(2012.12.17 生まれ)です。日本全国で協力して繁殖に取り組んでいるため、「タムタム」と「モトモト」はニフレルからお引越しをしています。そのため現在ニフレルでは「フルフル」「テンテン」「ネムネム」の3頭のミニカバが暮らしています。

【ミニカバ 3 頭の展示時間】

開館～15 時頃まで・・・「フルフル」と「ネムネム」

15 時頃～閉館まで・・・「テンテン」

《生きているミュージアム「NIFREL」施設概要》

- 【名 称】 NIFREL(ニフレル)(館長:小畑 洋)
- 【運営会社】 株式会社海遊館(大阪市港区、社長:濱元 博之)
- 【所 在 地】 吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内
- 【営業時間】 平日 10:00～18:00

土日祝日 9:30～19:00

※いずれも最終入館は閉館の 1 時間前 ※状況により変更する場合があります

- 【休 館 日】 年中無休。 ※年に 1 回設備点検のための臨時休館あり

- 【施設内容】 展示ゾーン(いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、ワンダーモーメンツ、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる(合計 8 ゾーン)、ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200 m²・112 席)
ミュージアムショップ(NIFREL×NIFREL)

- 【交 通】 大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩 2 分

- 【駐 車 場】 約 4,100 台(EXPOCITY 全体用駐車場)

